

# 梅北だより

## 第2回学校評価特別号



令和3年3月吉日  
京都市立 梅津北小学校  
校長 森川 和樹

### 令和2年度 第2回学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には、12月に実施しました「学校評価アンケート」にお忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことについてアンケートをとり、保護者・児童（低学年、高学年）・教職員の自校評価を第1回のアンケート結果と比較し、継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

#### アンケートの方法

アンケートの項目を、【確かな学力】【豊かな心・健やかな体】【学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

#### アンケート結果より

※重要度については、「重要である」「やや重要である」を合わせて表記しています。

※実現度については、「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて表記しています。

※（　）内は、保護者・教職員用アンケートの文言です。

※全項目は掲載できませんので、ご了承ください。

#### 【確かな学力】

授業中、学習がよくわかること (子どもにとって授業がよくわかること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	80. 0%	80. 1%
	低学年児童	92. 6%	95. 3%
	高学年児童	91. 4%	92. 4%
	教職員	96. 8%	84. 6%

授業中、しっかり話が聞けること 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	92. 6%	89. 4%
	高学年児童	87. 8%	88. 4%

授業中、しっかり発表すること 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	80. 9%	77. 3%
	高学年児童	59. 2%	58. 6%

最後まであきらめず、学習に取り組むこと (子どもが何事にも粘り強く取り組めること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	56. 4%	62. 8%
	低学年児童	91. 5%	92. 0%
	高学年児童	86. 8%	84. 4%
	教職員	64. 5%	65. 4%

## 【自由記述欄より】

- ・コロナで休校した分の遅れもあってか、基礎学力が少し乏しく、不安を感じています。
- ・どうしても学力の定着に時間がかかります。補習時間を取り入れているのはありがたいです。
- ・行く予定だった社会科の校外学習などが行けないまま終わってしまうことが残念です。経験として自分の目で見たり、感じたりすることは大切だと思います。
- ・コロナの影響で授業が遅れていたので心配していましたが、宿題と自主勉強十家の課題で復習する習慣をつけていくことができました。周りの子たちの自主勉強を見習い、見本にさせてもらっています。

本校では、育成したい資質・能力として「伝える力+汲み取る力=つながる力」を大切にして、取組を進めています。『授業中、しっかり発表すること』『授業中、しっかり話が聞けること』は、これに関する項目です。『話が聞けること』について、高学年児童の実現度の割合が増加していることに関しては、学びに向かう子どもたちの姿としてうれしいことであり、今後さらに取組を充実させていきたいと考えます。しかし、低学年児童の実現度の割合については減少しています。『発表すること』の低学年児童・高学年児童についても、ともに割合が減少しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、授業における伝え合いや話し合いの活動がこれまでのようには十分にできないことが原因の一つとなっていると考えます。今後も、感染症対策をしっかりとし、場の設定や方法などを工夫して活動するなど、子どもたちの学びが充実したものとなるように取り組んでいきたいと思います。

『最後まであきらめず、学習に取り組むこと（何事にも粘り強く取り組めること）』は、今年度より実施となった学習指導要領に挙げられている、育成すべき資質・能力の3つの柱の一つである「学びに向かう力・人間性等」の目指す子どもの姿です。粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとする、主体的に学習に取り組む態度が身に付くことは、学習がよくわかるにつながります。『授業中、学習がよくわかること』について、低学年児童・高学年児童ともに、実現度の割合が増加していることからもわかります。

6月の休校明けから、行事・取組の精選、40分授業での7時間授業などで授業時間の確保をし、必要に応じて補習の時間も設定して教育活動を進めてまいりました。今後も、子どもたちの学力がしっかりとつくように、さまざまな工夫をして教育活動を進めていきたいと考えています。家庭学習を工夫して取り組んでいる様子も見られ、学校と家庭とで子どもたちの学びを支えていくことを大切にしていきたいと考えています。一方で、子どもたちにとって大切な学び方の一つである直接体験の機会が今年度少なくなってしまったことはとても残念なことでした。そんな中ですが、感染症対策を講じた上で、2年生の校区内の町探検や3年生の畑の見学、6年生の伝統工芸や伝統芸能の体験活動など、校外へ出かけての活動や講師の方を招いての学校での活動も行うことができました。地域の方や関係各所の方のご理解とご協力があつてのことでした。今後も、子どもたちの学びが少しでも充実するよう、工夫していきたいと思います。

## 【豊かな心・健やかな体】

「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」が言えること (子どもが「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」と進んで言えること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	78. 9%	81. 7%
	低学年児童	88. 9%	90. 9%
	高学年児童	89. 2%	89. 8%
	教職員	75. 8%	62. 0%
早寝・早起きなど、決められた生活をすること (子どもが早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を 身に付けていること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	79. 8%	77. 4%
	低学年児童	81. 4%	77. 7%
	高学年児童	72. 3%	69. 9%
	教職員	62. 5%	76. 9%

友達と仲良くすること (子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや 親切な心を育むこと) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	92.5%	89.3%
	低学年児童	94.7%	94.7%
	高学年児童	96.5%	96.5%
	教職員	90.9%	92.6%

### [自由記述欄より]

- ・コロナに感染しないようによく取り組んでいただいていると思います。
- ・授業のカリキュラムを進めることが優先で、子どもの心が追い付いていないように感じます。一人一人とのかかわりを大切にして、心の成長を大事してほしいと感じます。
- ・学校が再開し、子どもが元気に通学でき嬉しく思います。当たり前なことは何もなく、感謝です。これからも、子どものために環境をよくしていきたいです。
- ・大変な困難の中、修学旅行実施してくださりありがとうございました。子どもたちにとってかけがえのない体験と思い出になったようです。一生懸命考えて道を拓いていくことの大切さを子どもは学べたと思います。

『あいさつ』については、低学年児童・高学年児童とも子どもたちの実現度の割合は増加しています。梅津北小では、毎月1日と15日の朝、あいさつ運動をしています。児童会の子どもたちを中心に、全校児童のあいさつすることの意識が高まるようにするための取組もしています。地域の方から、学校からの帰り道に「ただいま」と元気にあいさつしてくれる子どもたちがいてとてもうれしい、とのお声もいただいています。教職員の実現度の割合が減少していますが、教職員はさらに、自ら進んであいさつができる子どもの姿が増えることも期待しています。これからも、梅津北小学校を明るく心のこもったあいさつや言葉が行き交う学校にしていきたいと思います。

『早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣』については、全体として減少しています。季節的に寒くなってきて朝が起きにくく、朝食も短時間で済ませたり、ついつい遅くまでテレビやゲームなどをして、寝る時刻が遅くなったりするのかもしれません。この機会に改めて起床や就寝の時刻、テレビやゲームの使用のルールを、ご家庭で話し合っていただければと思います。

『友達と仲良くすること』について、児童においては1回目と同じ割合でした。4・5月の休校、6月からの隔日登校など、不安がある中での学年や学級のスタートだった子どもたちも多かったと思いますが、日々の学校生活の中で、新たな友達を作ったり、さらに友達との仲を深めたりできているようです。これからも仲間を大切に過ごしてほしいです。

コロナ禍で、大人でも未知のことだらけで、なかなか先の見えない状況が続いている中、子どもたちにとっても不安なことが多くあると思います。一人一人の子どもたちの心に寄り添い、子どもたちが元気に安心して学校に来ることができるよう、梅津北小全ての教職員でサポートしていきます。日頃からの保護者の方や地域の方の学校への温かいお声やお心遣いに支えられています。ありがとうございます。

### 【学校・家庭・地域との連携】

学校であったことを家で話すこと (学校が、教育方針や教育活動の状況を 分かりやすく伝えること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	85.8%	85.9%
	低学年児童	82.0%	81.9%
	高学年児童	82.8%	81.9%
	教職員	96.6%	96.3%

PTA行事や地域の行事に進んで参加すること (子どもが地域行事やPTA行事に参加すること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	50.0%	44.9%
	低学年児童	58.8%	56.9%
	高学年児童	43.6%	38.0%
	教職員	50.0%	53.8%

PTA活動・地域活動が積極的に行われること 【重要度】		第1回	第2回
	保護者	65.7%	72.4%
	教職員	96.7%	96.2%

### [自由記述欄より]

- ・学校へ行く機会が少ない分、子どもの友達や保護者の顔がわからず、話すこともなく、どうしても不安や心配があります、仕方ないですね。
- ・コロナの件で、学校・PTA・地域の連携ができなかったのが残念でした。来年はできるでしょうか、心配です。
- ・今年はコロナの影響もあり、学校行事がほぼなかったため、子どもの学校生活について少しわかりにくく思いました。

『学校であったことを家で話すこと』については、低学年児童・高学年児童ともに割合が若干減少していますが、ほぼ同じで、例年高い割合です。各ご家庭でも心がけていただいていることが大きな要因だと思います。これからも継続していただきたいと思います。学校としても、今後も引き続き、ホームページや学校だよりで、学校の教育方針、新学習指導要領における育成を目指す子どもの姿やG I G Aスクール構想などの新しい教育、そして、子どもたちの日々の活動の様子を発信していきたいと考えています。

『PTA行事や地域の行事に参加すること』についての割合は全体として減少していますが、一方、『PTA活動・地域活動が積極的に行われること』の保護者の方の重要度がとても増加しています。やはり子どもたちには、さまざまな経験の場や活躍の場が必要です。今年度は、コロナ禍の中、一つ一つの行事や活動について社会の状況を鑑みながら実施の可否について精査したり、少しでも子どもたちのためにできることはないかと新たな取組を考えたりしてくださいました。結果的に多くの行事が中止となっていましたが、いつも梅津北小の子どもたちがよりよく成長できるように考えてくださっているPTAや地域の方々の活動の大切さを改めて感じます。今後も、子どもたちにとって有意義な活動を進めてくださいますよう、よろしくお願いいいたします。

2月24日(水)19時より、「第2回学校運営協議会」を行いました。

### 【学校運営協議会でのご意見】

- 40分授業の7コマの授業は、子どもたちにとっての負担はどうだったのだろうかと思ったが、少しずつ慣れていっていたようだ、との保護者の声を聞き、少し安心した。
- 行事が次々となくなり、改めてPTAや地域の活動の重要性が明らかになったということで、これからもがんばっていかなくてはならないということを感じた。
- タブレットを学習に使うようになるということで、視力の低下など、健康面の心配もある。
- タブレットの使い方によっては、文字を書く、という経験が減ってしまうことが考えられ心配だ。
- タブレットを使っての学習の割合やバランスが大切になってくるのだと思う。
- 子どもたちのコロナ疲れがあるのではないか。放課後に運動場で元気に遊んでいる姿を見て、発散できる機会や場があることが大切だと感じる。
- 今年度、修学旅行に行けてよかったと思う。来年度も、できるだけ多くの行事を子どもたちが経験できるようになるとよいと願っている。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

今後とも梅津北小学校の児童のよりよい成長に向け、【学校】【家庭】【地域】で連携していきたいと思います。よろしくお願いいいたします。